

住民こそ主人公・住民のための市政を

# 明日の相模湖

No. 914

2025年 5月号

発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢嵐794-3

宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

mail: jcpsagamiko@gmail.com

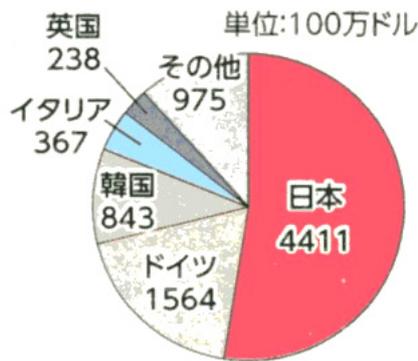
## 日本が負担する米軍駐留経費 他国に例ない異常の数々

在日米軍関係経費は5年連続で過去最大を更新し、2024年度は8601億円に達しました。これは中小企業対策費（1695億円）の5倍以上です。

米国の他の同盟国で、駐留米軍のためにこれだけの支出をしている国は存在しません。

米国防総省の2004年版「共同防衛に対する同盟国の貢献度」報告によると、主要同盟国27カ国が支出

米同盟国の米軍駐留経費総額に占める各国の割合(2004年版米国防総省「貢献度報告」から)



した米軍駐留経費負担総額の負担総額の53%を、日本1国だけで占めています。(グラフ参照)

重大なのは、日本は国民の税金を投入する「直接支援」の比率が異常に高いことです。「貢献度報告」によれば同盟27カ国の直接支援総額は41億4335万ドルとなっています。NATO加盟国の直接支援はすべて合わせても7655万ドル。実に日本の42分の1です。

「直接支援」の最たるものは巨大な基地建設や米軍用の家族住宅などのインフラ整備です。日本政府は米軍「思いやり予算」で、1979年度から全国の米軍基地に家族住宅や隊舎、米兵の家族向けの学校や娯楽施設、さらに戦闘機の格納庫や艦船の埠頭など、ありとあらゆる施設を建設してきました。加えて名護市辺野古の米軍新基地や馬毛島(鹿児島

県西之表市)の空母艦載機訓練場など、巨大基地建設が全国で続いています。辺野古新基地の建設費は最低でも2・5兆円、青天井で増え続けています。これだけの負担をしている同盟国は、世界のどこにも存在しません。

欧州の米軍基地は基本的に受け入れ国との共同使用となっており、米軍のために巨大基地を建設するという事例は存在しません。家族住宅や娯楽施設などの提供も行われておりません。

トランプ大統領は「われわれは他国のために何千億ドルも払う。日本は何も払わない」と発言し、米軍駐留経費の増額を要求していますが、何千億ドルも支払っているのは日本です。日本政府は不当な関税も、これ以上の軍事負担もきっぱり拒否すべきです。(2025/5/1付「しんぶん赤旗」より抜粋)





自然観察シリーズ  
NO. 582  
植物

# チドリノキ (千鳥の木)

(ムクロジ科カエデ属)

チドリノキはカエデ属の仲間、相模湖付近や高尾山では、沢沿

いの谷間に割と普通に見られる木です。葉の形がカエデの形のように分かれてないので、カエデの仲間と解らないと思います。葉の形だけだとカバノキ科のクマシデや、サワシバにそっくりなのです。カバノキ科と違うのは、葉が茎に付くのが、カエデの仲間は全部、対生していて、同じ位置に左右に葉が付いているところです。春に図のような黄緑色の小さな花の花序を垂れ下がっています。

種になってからの姿が、千鳥が飛んでいるように見えるという意味で付いた名前です。

〔分布〕 本州太平洋側、四国、九州  
日本固有種

## 高齢者の「足」の確保を

4月20日、市の主催で「中山間地域の公共交通再編に係わる説明会」が開かれました。約60名の参加があり、関心の高さが伺えました。同一テーマで藤野や津久井地域でも開かれています。

この説明会は神奈川中央交通より、運転手不足を理由に、路線の統廃合や他の交通モードへの転換を含めた協議の申し出があり、三ヶ木以西のバス路線については令和8年度末までに統廃合を含めた地域交通のあり方を進めていることなどを説明するために開かれました。

三ヶ木と相模湖駅間の路線(2系統)は運行継続を前提に協議をしているが、その他の路線については、廃止する方向で協議しており、廃止される地域については乗合タクシーのエリアを拡大していくとのこと、10月から実証運行を実施するという説明がありました。乗合タクシーの運賃については同一運賃区域内で大人900円程度を考えているとのことですが、年金生活をしている高齢者にとって往復1800円の支出は大変ではないでしょうか。市の補助を増やし、気軽に買物や病院通いができるような「足」の確保を実現してほしいですね。